



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ 県産業労働観光部長との意見交換会

■ 意見交換会

9月29日栃木県工業団地管理連絡協議会主催による県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を管理センターで開催しました。

参加者は、栃木県産業労働観光部から小竹部長ほか職員3名、団管連事務局長、芳工連からは11名（3密防止を図るため役員のみ）の総勢16名でした。

意見交換会に先立ち、細岡大会長は「日頃から、県産業労働観光部の皆様には、工業団地立地企業に対する支援はもとより県の産業振興施策、県政全般の発展、更には新型コロナウイルス感染対策にご尽力されていることに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。



日本経済における景気の動向は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、このところ持ち直しの動きがみられるようです。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されております。

行政に関わる皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動の両立や、激甚化・頻発化する災害への対応の中で、地域の皆様の生命・生活・雇用・事業を守り合わせて、感染症拡大で顕在化した課題を克服した後の誰もが成長を実感できる「質」の高い経済成長の実現に、高い期待が持たれています。

我々のできることは、新しい生活スタイルの中、感染拡大をさせない事と経済活動の足かせとなる誹謗中傷やデマなどを決して出さない知力、知性を持つことだと思います。我々にできることは限られておりますが、できることを確実に実行することが求められていると思います。

こうした中、芳工連の各種行事も縮小傾向ですが、交通安全講習会、安全活動事例発表会などの開催につきましては、3密を防ぐ目的からWEBでの参加も可能とするシステムを導入し、感染拡大防止を図る対応をしているところです。

本日は、企業が抱える課題や工業団地を取り巻く課題をご理解いただきまして、工業団地に立地する企業の不安を解消し、安定した成長が持続できるよう、部長さん始め県執行部の皆様には、引き続き特段のご理解とご支援をお願い申し上げます」と挨拶しました。

県産業労働観光部 小竹部長は「現在、コロナ対策と産業支援に力を入れているところです。こうした中、栃木県は全国第2位のものづくり県であるとともに、1人当たりの県民所得は全国第3位となっておりますが、県内企業が大きく寄与しているところです。

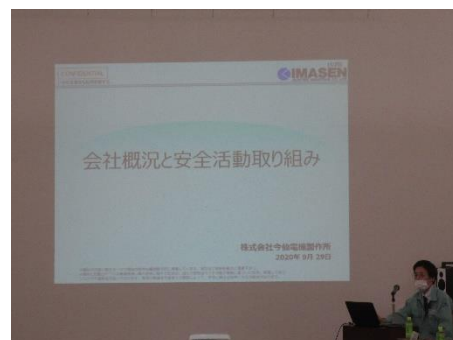
県産業労働観光部 小竹部長は「現在、コロナ対策と産業支援に力を入れているところです。こうした中、栃木県は全国第2位のものづくり県であるとともに、1人当たりの県民所得は全国第3位となっておりますが、県内企業が大きく寄与しているところです。

今、行政の課題は人口減少対策です。とちぎ創生 15（15年）戦略第2期が今年スタートしますが、産業労働観光部としては人口知能（AI）など「未来技術」の活用をメインテーマに据えて様々な施策を推進していきたいと思っていますので、皆様方のご協力をお願いします。

本日は、県の産業施策についてご説明をさせていただき、また企業様からの質問・要望に対して回答させていただき、円滑な企業活動を支援していきたいと思っております」と挨拶しました。

＊ **企業概要報告**

工業団地立地企業を代表して、株式会社今仙電機製作所栃木テクニカルセンターの山本幸宏様から車のシートデバイス、2・4輪車の電装品などの開発設計業務に関する企業概要や安全衛生活動の取組について説明をいただきました。



＊ **県施策の説明**

小竹部長から県の産業政策等について説明がありました。

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）に係る経済対策として、資金繰り支援では「コロナ緊急対策資金」「コロナ対策パワーアップ資金」、事業継続支援では「サプライチェーン再構築支援」、消費・観光需要では「とちぎ応援プレミアムチケット」「とちぎ泊まろうキャンペーン」など、これまでに825.7億円の補正予算を組んで対応しています（詳しくは県ホームページ「栃木県 コロナ 経済対策」で検索ください）。



また、コロナの予防についての「多言語版パンフレット」（[県ホームページで検索](http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/yobou_foreigners.html)）を用意しましたので、従業員の感染防止に活用してください。

とちぎSDGs（持続可能な開発目標）推進企業登録制度が10月1日スタートしますので、ぜひ登録していただき、企業活動のPRツールとして活用ください。

人材確保策として、JR有楽町駅に隣接する東京交通会館8階に「とちぎUIJターン就職サポートセンター」を開設して、栃木県内への就職を希望する学生及び転職希望者等のUIJターン就職に関する様々な相談をワンストップで支援しています。また、「とちまる就活アプリ」、就職支援サイト「WORKWORK(ワワーク)とちぎ」、奨学金返還助成（県内製造業、卸売・小売業、情報通信業、宿泊業に就職）などの情報発信も強化しています。

◆ 他にも、BCP策定支援事業など栃木県が取り組んでいる産業振興等に係る施策について、詳しくご説明いただきました。

■ **芳工連からの意見・要望に対する回答**

会員企業様から提出された意見要望に対して、小竹部長から次のような説明がありました。

意見・要望等概要	部長回答概要
<p>◆働き方改革について</p> <p>新型コロナウイルスの流行で、働き方が今後変化していくと思います。</p> <p>特にテレワークによる業務により通信環境が重要になると考えます。同時に多数との接続や通信量が必要となり、5Gの進展に対して今後県としてはどのような対応をお考えでしょうか。</p>	<p>国は、10km四方メッシュで基地局を整備して、4年後には全国の98%をカバーする予定ですが、本県では5Gのサービスは低調ですので、基地局の更なる整備が必要です。このため、県有施設等を利用した基地局の設置を進めることとしています。また、携帯電話会社からの5G整備問合せ窓口として、デジタル戦略室を新設して対応しています。基地局整備支援促進を図り、1日も早く5Gのサービスが利用できる環境整備に努めてまいります。</p>

■ 企業視察

意見交換後、小竹欣男県産業労働観光部長が東洋濾紙株式会社様を視察しました。ご多用のところ植野昭子芳賀工場長、半田毅様、猪股泰子様にご案内いただきました。

東洋濾紙(株)様は ADVANTEC グループの一員として、濾紙・濾過器・試験紙の開発・生産を担っており、芳賀工場ではメンブレンフィルター（多孔質膜）、各種試験紙、体外診断用医薬品等を製造しています。日本初の国産濾紙製造に始まり、生ビールや半導体製造に欠かせない精密濾過膜の開発製造から身近なリトマス試験紙、またインフルエンザや妊娠検査など、病院や自宅でのスピーディーな検査に採用されている試験紙などを始め、時代を先取りし、先進性と独創性のある製品を世の中に送り出しています。なお、フィルターは和紙を漉くような工法ではなく、高粘度溶液を均一にステンレスベルト上に流延して、多孔質膜として巻き取って製膜することを学びました。



■ 交通安全街頭広報活動を実施

9月21日から30日まで実施された、秋の交通安全県民総ぐるみ運動に合わせ、交通防犯部会メンバーは9月17日に交通安全のぼり旗、交通安全横断幕を管理センター前交差点及び芳賀台交差点の2箇所に設置しました。

また、9月25日芳賀町交通安全対策連絡協議会の皆様と一緒に交通防犯部会メンバーなど12社18名が、管理センター前交差点において交通安全街頭広報活動を実施しました。

実施にあたり古塚芳賀町教育長は「一昨年から約2年間、町内の交通死亡事故は0件です。これから夕暮れも早くなりますので早めの点灯を心掛け、死亡事故0件が続きますよう一人ひとりがご注意ください」などと挨拶しました。

同席した真岡警察署鈴木交通課長は「子どもや高齢者に優しいSee(発見する)、Slow(減速する)、Stop(停止する)の3S運動、夜間走行中の原則ハイビームの徹底など、皆様のご協力をお願いします」などと挨拶しました。

その後、地域自治会代表者、地元の町議会議員、真岡警察署警察官などが「前照灯の早め点灯」「スピード注意」「シートベルトチェック」などのハンドプレートを使って、ドライバーに注意喚起しました。



■ 普通救命講習会

安全衛生部会が主催する第1回普通救命講習会を9月30日、会員企業13社から15名の皆

様に参加いただき管理センターで開催しました。

今年度から、受講生は事前に応急手当WEB講習を受講し、発行された受講証明書を提示して約30分の実技講習を、1組5人ずつの3グループに分かれて順次受講していただきました。

実技では訓練用マネキンを使用し、参加者一人ひとりが心肺蘇生法とAED使用法について実践しながらに訓練しました。安全確認、反応確認、119番通報と協力依頼、呼吸確認、胸部圧迫、人工呼吸の手順で心肺蘇生を行ないました。

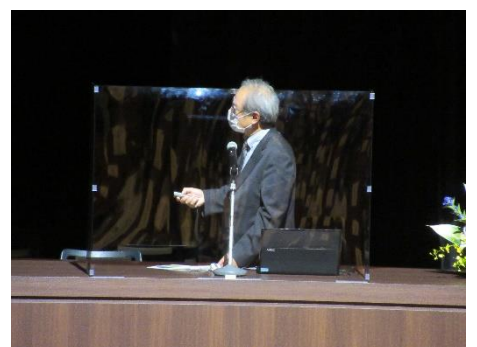
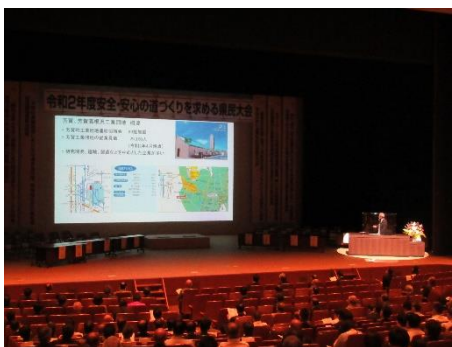
心肺蘇生を行なっている際にAEDが届けば、直ぐにAEDを使用し除細動（電気ショック）を音声メッセージの指示に従って、必要な手順で使用します。

また、異物の除去、止血の方法についてもご指導いただきました。今回も忙しい中、真岡消防署芳賀分署の皆さんにご協力いただき感謝申し上げます。なお、受講されていない方は、次回以降の講習会（10/29、12/17、1/29）に参加されるようお勧めいたします。



■ 道路整備に関する意見を発表

9月29日安全・安心の道づくりを求める県民大会（道路整備促進期成同盟会栃木県協議会主催）が知事、本県選出の国会議員、県内市町長などの出席のもと県総合文化センターで開催され、席上芳工連 富永英夫副会長が芳賀町の工業団地を取り巻くこれまでの周辺道路整備状況と今後の道路整備に対する期待などの意見発表を行いました。



■ お知らせ

今年度の芳賀町商工会と芳工連との意見交換会は、中止になりました。

< 芳工連日誌 >

【9月の実績】

- 9日 町商工会総務委員会
- 17日 交通安全のぼり旗設置
- 21日～30日 交通安全県民総ぐるみ運動
- 23日 資源ごみ回収日
- 25日 交通安全街頭広報活動
- 28日 町総合交通戦略会議
- 29日 県産業労働観光部長との意見交換会
- 29日 安全・安心の道づくり県民大会
- 30日 第1回普通救命講習会

【10月の予定】

- 1日 交通安全のぼり旗撤去
- 15日 若手研修会
- 22日 第3回クリーン作戦
- 22日 安全運転講習会
- 28日 資源ごみ回収日
- 29日 第2回普通救命講習会
- 30日 管理センター管理組合役員会